

うみしんの現況

2018

Donan Umimachi Shinkin Bank
DISCLOSURE 2018

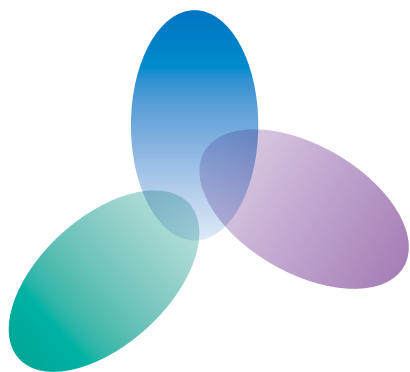
平成30年 ディスクロージャー <平成29年4月1日～平成30年3月31日>



Donan Umimachi Shinkin Bank DISCLOSURE 2018

当金庫の概要 (平成30年3月31日現在)

名 称	道南うみ街信用金庫
所 在 地	松山郡江差町字本町132番地
創 立	大正13年2月25日
預 金	2,747億4千1百万円
貸 出 金	1,214億3千万円
出 資 金	34億2千2百万円
店 舗 数	21店舗
会 員 数	18,518人
常勤従業員数	280人



■シンボルマーク

江差と函館の道南エリアを形象化するため、お客様・道南地域・新金庫を三つの楕円で表し、それぞれが未来に向かう姿を表現したものです。

目 次

ごあいさつ	1
経営理念・経営方針	2
業績ハイライト	3
自己資本	5
不良債権の状況	6
総代会	8
地域貢献	11
トピックス・地域とのふれあい	13
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組状況	20
「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み	21
地域金融円滑化に向けた取り組み	21
リスク管理・コンプライアンス(法令等遵守)	22
顧客保護等管理について	23
反社会的勢力に対する取り組みについて	23
金融ADR制度への対応	23
預金保険制度について	23
預金業務のご案内	24
融資業務のご案内	25
各種サービス業務	26
事業の組織	27
役員一覧	27
営業地域	28
店舗一覧	30
開示項目索引	31
資料編	32
役職員の報酬体系の情報開示	35
自己資本比率規制に基づく開示	42
うみしんのあゆみ	49

ごあいさつ

平成30年7月

理事長 藤谷 直久



皆さまには、平素から私ども道南うみ街信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り心より厚くお礼申し上げます。

当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくために、ここにディスクロージャー誌を作成しました。

経営方針、業績、財務内容や地域の皆さまとのふれあいなど、現状をわかりやすくご案内しておりますのでご覧いただければ幸いに存じます。

当金庫は、本年1月23日に道南うみ街信用金庫として満1年を迎えました。スタート年度として経営に影響を及ぼす大きなトラブルも無く、合併初年度を無事に乗り越えることが出来たのも、ひとえに永年お取引を頂いている多くのお客さまのご理解とご協力のお蔭と衷心より感謝申し上げる次第であります。

さて、平成29年度の国内経済であります。アベノミクスの推進に加え、欧米圏における堅調な景気回復や大手輸出企業の業績向上から、日経平均株価も堅調に推移するなど「いざなぎ景気」を超えたとも言われました。一方で、信用金庫の主要取引先である中小零細企業の殆どは内需主要型であることや全業種で人手不足が見られコスト負担を販売価格に容易に転嫁出来ないなど景気回復感がないのが実態でありました。

道南地域においては、急速に進む人口減少・超高齢化と言った構造的問題を抱える中で、前述の国内中小零細企業の実態に加え、平成29年3月～平成30年3月の北海道新幹線利用率が前年同期比で21%減少するなど反動も見られたことや、スルメイカ漁の記録的な不漁により圏内の水産加工業者等関係企業は苦境に立たされ、更に多くの企業は後継者問題や人手不足の深刻化に直面するなど厳しい経営を余儀なくされました。

この様な業況下、当金庫は資金運用収益確保を重点施策とし融資先の新規開拓や各種ローン推進を掲げたところですが、合併スタート年度故の内部管理体制の整備・強化に多くの時間を費やし積極的な推進が出来なかったことや合併に起因する費用負担などから、合併成果は途上の途上と言う結果となりました。預金は一般法人が堅調に推移し平均残高で32億円増加しましたが、貸出金は資金需要が活発化しない中、約定弁済や他業態からの顧客争奪攻勢を受け61億円減少し、当期純利益は219百万円となりました。自己資本比率は、信金中央金庫からの資本支援28億円を全額償還したことにより前年度比3.34ポイント低下し15.18%となりましたが、国内で営業する金融機関の下限4%を充分上回っておりますので健全性に揺るぎありません。

当金庫は平成30年度に新3ヵ年中期経営計画「Progress」を策定いたしました。地域金融機関として三方よしの理念の下、前年度に引き続きお客さま第一主義に立った業務の多様化・高度化等を進め、金融サービス充実化による「うみしん相談ブランド」の確立に向け積極的に取り組んでまいります。地域のホームドクターとして、中小零細企業をサポートし地域から必要とされ続ける金融機関を目指してまいり所存でありますので、引き続き倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

三方よし(お客様よし、地域よし、金庫よし)の理念の下、
信用金庫の独自性・特性を活かし
地域社会に必要とされ続ける金融機関を目指す

経営方針

- 一. 質の高い金融サービスの提供に努め、多くのお客様と地域社会の繁栄に貢献します
- 一. 健全経営に徹し、信頼・信用される金庫の維持と事業の発展に努力します
- 一. 職員の融和と資質向上を図り、やりがいのある職場を創ります

中期経営計画(平成30～32年度)【Progress】

平成30年度より、新たに『「三方よしの理念」のもと、地域・お客さまが必要とする金融サービスを「誠意をもって誠実」に提供し、「地域」のホームドクターとして「地域」から必要とされる金融機関であり続けることにより持続性を確立する』ことを目指すべき姿とした新中期経営計画【Progress】を策定いたしました。

以下に示す戦略に基づき、役職員一同、全力で取り組んでまいります。

Progress

【戦略1】 支援力・営業力の深化

- ・金融仲介機能の発揮
- ・お客さまとの長期的信頼関係の構築
- ・会員組織の有効活用
- ・業界ネットワークの活用
- ・地道なCSR(社会貢献活動)の展開
- ・地域活性化に向けたプラットフォーム機能の発揮

【戦略2】 経営力・内部態勢の深化

- ・収益性の向上
- ・生産性・効率性の向上
- ・健全性の確保
- ・透明性の向上
- ・法令等遵守態勢・顧客保護等管理態勢のさらなる強化推進
- ・リスク管理態勢の強化推進
- ・業務継続態勢の強化推進

【戦略3】 支援力・営業力の深化

- ・人材の確保
- ・人材の育成
- ・働き方改革

【戦略4】 独自性の発揮

- ・「おもてなし」態勢の強化
- ・店舗回り美化へ促進
- ・年金レディース活動の業務範囲充実